

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 清水 順三

問合せ先責任者 (役職名) 経理企画部長 (氏名) 塩崎 泰司

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第1四半期 | 1,055,188 | △45.3 | 7,410 | △79.3 | 9,409 | △77.3 | 2,667 | △85.9 |
| 21年3月期第1四半期 | 1,928,177 | — | 35,747 | — | 41,409 | — | 18,863 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第1四半期 | 7.62 | — |
| 21年3月期第1四半期 | 53.74 | 53.71 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第1四半期 | 2,049,266 | 612,969 | 27.0 | 1,581.89 |
| 21年3月期 | 2,130,089 | 586,996 | 24.9 | 1,515.64 |

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 554,121百万円 21年3月期 530,919百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 18.00 | — | 8.00 | 26.00 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------------|-----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期 連結累計期間 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 通期 | 5,000,000 | △20.5 | 57,000 | △37.4 | 54,000 | △45.1 | 25,000 | △37.8 | 71.37 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期連結累計期間業績予想の記載を省略しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 354,056,516株 21年3月期 354,056,516株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 3,765,890株 21年3月期 3,762,239株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 350,292,591株 21年3月期第1四半期 351,015,072株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、4月以降、各国の景気刺激策や金融不安の緩和により、景気底入れの兆しが見えたものの、先進国を中心に悪化傾向が続きました。一方、わが国経済は、在庫調整が一巡し、景気の更なる落ち込みには歯止めがかかったものの、輸出や生産・設備投資の落ち込み、消費の減退で景気低迷が続きました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は前年同四半期連結会計期間を8,730億円（45.3%）下回る1兆551億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下の通りであります。

金属本部は、鉄鋼分野では、在庫削減及び物流効率化によるコスト削減に努めました。鉄鋼原料分野では、英国と北海道の鉄スクラップ加工会社が本格稼働しました。非鉄金属分野では、引き続きレアアースを中心とした資源開発に注力しました。しかしながら、急激な自動車メーカーの減産と市況の下落の影響を受け、売上高は前年同四半期連結会計期間を3,024億円（50.3%）下回る2,993億円となりました。

機械・エレクトロニクス本部は、機械分野では、(株)豊通マシナリーを設立し、営業力を強化しました。建設機械分野では、欧米での販売強化、新興国市場開拓を目指し、小型建機の専門メーカーである(株)竹内製作所に資本参加しました。自動車生産用部品分野では、自動車メーカーの減産と在庫調整の影響を受け、部品販売が減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期連結会計期間を1,538億円（38.9%）下回る2,411億円となりました。

自動車本部は、既存事業体の顧客対応やサービスなどの経営品質の強化・改善に努めました。しかしながら、世界的な景気減退に伴い、自動車販売が低迷し、取り扱いが減少しました。これらの結果、売上高は前年同四半期連結会計期間を1,150億円（47.5%）下回る1,271億円となりました。

エネルギー・化学品本部は、化学品合成樹脂分野では、事業領域、情報収集力の拡大に伴う積極的な海外展開を図るため関係会社3社を統合し、豊通ケミプラス(株)を設立しました。また、高機能プラスチックの現地調達ニーズに対応するため、米国にコンパウンド事業会社を設立し、工場建設に着工しました。しかしながら、急激な自動車メーカーの減産と市況の下落の影響を受け、売上高は前年同四半期連結会計期間を2,363億円（50.8%）下回る2,285億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、穀物資源の安定調達の一環として、南米からアジア市場へ大豆・トウモロコシを新規成約し、海外市場の開拓を図りました。食品分野では、引き続き、食の安全体制をより強固なものにすべく海外サプライヤーの監査を行いました。しかしながら、市況の下落の影響を受け、売上高は前年同四半期連結会計期間を244億円（23.5%）下回る793億円となりました。

生活産業・資材本部は、自動車資材分野では、トヨタ紡織(株)、(株)川島織物セルコンとの3社で、輸送機器用内装材事業の統合について協議を進め、それぞれの強みを生かし、業界における世界トップレベルを目指す新会社を設立することの基本合意をしました。しかしながら、自動車メーカーの減産の影響もあり、売上高は前年同四半期連結会計期間を261億円（30.1%）下回る608億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上高の減少等により74億10百万円となり、前年同四半期連結会計期間（357億47百万円）を283億37百万円（79.3%）下回りました。経常利益は94億9百万円となり、前年同四半期連結会計期間（414億9百万円）を320億円（77.3%）下回りました。その結果、税引後の四半期純利益は、前年同四半期連結会計期間（188億63百万円）を161億96百万円（85.9%）下回る26億67百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、現金及び預金で801億円、たな卸資産で379億円減少した一方で、投資有価証券で203億円、有形固定資産で199億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ808億円減少の2兆492億円となりました。また、純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ260億円増加の6,129億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年4月28日発表の連結業績予想から変更してございます。また、当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期連結累計期間業績予想の記載を省略しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

【簡便な会計処理】

| | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) |
|----------------------------|--|
| 一般債権の貸倒見積高の算定方法 | 当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。 |
| 棚卸資産の評価方法 | 当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略しております。 |
| 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法 | 繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。 |

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

| | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) |
|---------|--|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。 |

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

| | 当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) |
|-----------------|--|
| 会計処理基準に関する事項の変更 | 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準の変更 在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。 この変更は、在外子会社等の重要性に鑑み、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を平均化し、会計期間を通じて発生する損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。 この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上高は3,362百万円、営業利益は63百万円、経常利益は31百万円、税金等調整前四半期純利益は32百万円それぞれ減少しております。 なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。 |

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 162,496 | 242,537 |
| 受取手形及び売掛金 | 705,696 | 690,646 |
| たな卸資産 | 388,473 | 426,391 |
| その他 | 103,399 | 109,693 |
| 貸倒引当金 | △8,917 | △9,141 |
| 流動資産合計 | 1,351,148 | 1,460,128 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 244,642 | 224,733 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 99,743 | 103,423 |
| その他 | 15,745 | 15,056 |
| 無形固定資産合計 | 115,488 | 118,479 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 253,686 | 233,388 |
| その他 | 104,528 | 113,335 |
| 貸倒引当金 | △20,227 | △19,975 |
| 投資その他の資産合計 | 337,987 | 326,747 |
| 固定資産合計 | 698,117 | 669,961 |
| 資産合計 | 2,049,266 | 2,130,089 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 498,681 | 492,678 |
| 短期借入金 | 268,437 | 331,064 |
| 未払法人税等 | 9,504 | 12,943 |
| 引当金 | 317 | 696 |
| その他 | 159,245 | 207,706 |
| 流動負債合計 | 936,185 | 1,045,088 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 95,000 | 95,000 |
| 長期借入金 | 352,943 | 350,008 |
| 引当金 | 20,497 | 20,277 |
| その他 | 31,669 | 32,718 |
| 固定負債合計 | 500,110 | 498,004 |
| 負債合計 | 1,436,296 | 1,543,092 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 64,936 | 64,936 |
| 資本剰余金 | 154,367 | 154,367 |
| 利益剰余金 | 364,203 | 365,130 |
| 自己株式 | △6,753 | △6,749 |
| 株主資本合計 | 576,753 | 577,685 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,164 | 2,147 |
| 繰延ヘッジ損益 | 448 | △2,300 |
| 為替換算調整勘定 | △38,244 | △46,613 |
| 評価・換算差額等合計 | △22,632 | △46,766 |
| 新株予約権 | 1,211 | 1,089 |
| 少数株主持分 | 57,636 | 54,988 |
| 純資産合計 | 612,969 | 586,996 |
| 負債純資産合計 | 2,049,266 | 2,130,089 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日) |
|----------------|---|---|
| 売上高 | 1,928,177 | 1,055,188 |
| 売上原価 | 1,830,134 | 992,166 |
| 売上総利益 | 98,043 | 63,022 |
| 販売費及び一般管理費 | 62,295 | 55,612 |
| 営業利益 | 35,747 | 7,410 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,287 | 799 |
| 受取配当金 | 4,425 | 4,493 |
| 持分法による投資利益 | 3,590 | 836 |
| 雑収入 | 3,640 | 2,193 |
| 営業外収益合計 | 12,944 | 8,322 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,613 | 3,764 |
| 雑支出 | 2,668 | 2,559 |
| 営業外費用合計 | 7,282 | 6,323 |
| 経常利益 | 41,409 | 9,409 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 104 | 96 |
| 投資有価証券及び出資金売却益 | 84 | 107 |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,551 | 29 |
| 持分変動利益 | — | 1,229 |
| 特別利益合計 | 2,740 | 1,463 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 171 | 192 |
| 減損損失 | 595 | — |
| 投資有価証券及び出資金売却損 | 4 | 172 |
| 投資有価証券及び出資金評価損 | 35 | 243 |
| 関係会社整理損 | 28 | — |
| 事業撤退損失引当金繰入額 | 471 | — |
| その他 | 14 | 11 |
| 特別損失合計 | 1,320 | 619 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 42,829 | 10,253 |
| 法人税等 | 21,066 | 6,802 |
| 少数株主利益 | 2,899 | 783 |
| 四半期純利益 | 18,863 | 2,667 |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

| | 金属 (百万円) | 機械・エ レクトロ ニクス (百万円) | 自動車 (百万円) | エネルギ ー・化学 品 (百万円) | 食料 (百万円) | 生活産 業・資材 (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|----------------------|-------------|------------------------------|--------------|----------------------------|-------------|----------------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対す る売上高 | 601,764 | 394,913 | 242,184 | 464,817 | 103,733 | 86,992 | 33,771 | 1,928,177 | — | 1,928,177 |
| (2) セグメント間の 内部売上高 | 128 | 2,396 | 2 | 596 | 34 | 597 | 1,176 | 4,931 | (4,931) | — |
| 計 | 601,893 | 397,309 | 242,186 | 465,414 | 103,767 | 87,589 | 34,948 | 1,933,109 | (4,931) | 1,928,177 |
| 営業利益 | 11,759 | 7,320 | 10,712 | 1,997 | 2,010 | 1,586 | 361 | 35,747 | — | 35,747 |

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

| | 金属 (百万円) | 機械・エ レクトロ ニクス (百万円) | 自動車 (百万円) | エネルギ ー・化学 品 (百万円) | 食料 (百万円) | 生活産 業・資材 (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|----------------------|-------------|------------------------------|--------------|----------------------------|-------------|----------------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対す る売上高 | 299,374 | 241,154 | 127,175 | 228,582 | 79,373 | 60,831 | 18,697 | 1,055,188 | — | 1,055,188 |
| (2) セグメント間の 内部売上高 | 100 | 2,428 | 2 | 318 | 28 | 140 | 1,689 | 4,708 | (4,708) | — |
| 計 | 299,475 | 243,582 | 127,178 | 228,901 | 79,401 | 60,971 | 20,386 | 1,059,897 | (4,708) | 1,055,188 |
| 営業利益又は損失(△) | 532 | 1,194 | 2,875 | △232 | 2,615 | 793 | △368 | 7,410 | — | 7,410 |

(注) 1. 事業区分の方法：事業区分は、商品の種類・性質により区分しております。

2. 「4.その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上高は金属事業で652百万円、機械・エレクトロニクス事業で1,493百万円、自動車事業で1,527百万円のそれぞれ減少、エネルギー・化学品事業で169百万円、食料事業で367百万円のそれぞれ増加、生活産業・資材事業で92百万円、その他事業で133百万円のそれぞれ減少となっております。また、営業利益は金属事業で17百万円、機械・エレクトロニクス事業で4百万円、自動車事業で29百万円、エネルギー・化学品事業で18百万円のそれぞれ減少、食料事業で14百万円の増加、生活産業・資材事業で3百万円、その他事業で4百万円のそれぞれ減少となっております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

| | 日本 (百万円) | アジア・オ セアニア (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | その他の地 域(百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全 社(百万円) | 連結 (百万円) |
|----------------------|-------------|------------------------|-------------|-------------|-----------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 1,280,823 | 323,955 | 154,940 | 119,548 | 48,910 | 1,928,177 | — | 1,928,177 |
| (2) セグメント間の 内部売上高 | 166,402 | 34,564 | 37,468 | 4,251 | 1,075 | 243,762 | (243,762) | — |
| 計 | 1,447,225 | 358,519 | 192,408 | 123,799 | 49,986 | 2,171,939 | (243,762) | 1,928,177 |
| 営業利益 | 12,318 | 9,127 | 5,290 | 3,803 | 5,207 | 35,747 | — | 35,747 |

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

| | 日本 (百万円) | アジア・オ セアニア (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | その他の地 域(百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全 社(百万円) | 連結 (百万円) |
|----------------------|-------------|------------------------|-------------|-------------|-----------------|------------|-----------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 685,694 | 202,347 | 71,627 | 64,473 | 31,045 | 1,055,188 | — | 1,055,188 |
| (2) セグメント間の 内部売上高 | 85,740 | 10,100 | 27,521 | 828 | 415 | 124,606 | (124,606) | — |
| 計 | 771,435 | 212,447 | 99,149 | 65,302 | 31,460 | 1,179,795 | (124,606) | 1,055,188 |
| 営業利益 | 818 | 3,232 | 1,021 | 244 | 2,156 | 7,474 | (64) | 7,410 |

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア・オセアニア：中国・台湾・シンガポール・タイ
- (2) 北米：米国
- (3) 欧州：英国・ベルギー・ロシア
- (4) その他の地域：アフリカ・中南米

3. 「4.その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、在外子会社等の収益及び費用については、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上高は「アジア・オセアニア」で1,840百万円の減少、「北米」で1,329百万円の増加、「欧州」で2,238百万円、「その他の地域」で612百万円のそれぞれ減少となっております。また、営業利益は「アジア・オセアニア」で45百万円の減少、「北米」で13百万円の増加、「欧州」で4百万円、「その他の地域」で27百万円のそれぞれ減少となっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間において、2,804百万円の剰余金の配当を行っております。

2010年3月期第1四半期連結決算概要

2009年7月31日

豊田通商株式会社

(単位: 億円)

| 連結経営成績 | 第1四半期 | 前年同期 | 前年同期比 | |
|------------------|--------|--------|---------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 10,551 | 19,281 | ▲ 8,730 | ▲45% |
| 売上総利益 | 630 | 980 | ▲ 350 | ▲36% |
| 販売費及び一般管理費 | 556 | 622 | ▲ 66 | — |
| 営業利益 | 74 | 357 | ▲ 283 | ▲79% |
| 利息収支 | ▲ 29 | ▲ 33 | 4 | — |
| 受取配当金 | 44 | 44 | 0 | — |
| 持分法による投資損益 | 8 | 35 | ▲ 27 | — |
| その他 | ▲ 3 | 9 | ▲ 12 | — |
| 経常利益 | 94 | 414 | ▲ 320 | ▲77% |
| 特別損益 | 8 | 14 | ▲ 6 | — |
| 税金等調整前 四半期純利益 | 102 | 428 | ▲ 326 | ▲76% |
| 法人税等 | 68 | 210 | ▲ 142 | — |
| 少数株主利益 | 7 | 28 | ▲ 21 | — |
| 四半期純利益 | 26 | 188 | ▲ 162 | ▲86% |

※2010年3月期より、在外子会社の外貨換算に期中平均レートをを用いております。

| 主な増減要因 |
|--|
| <p>【売上高】▲8,730億円 自動車生産台数減少及び市況の下落に伴い、金属、エネルギー・化学品本部を中心に取扱い減少</p> <p>【売上総利益】▲350億円 売上高減少に伴い、金属、機械・エレクトロニクス、自動車本部を中心に減少</p> <p>【販売費及び一般管理費】▲66億円 全社的なコスト削減により負担減少</p> <p>【利息収支】+4億円 国内外の金利低下による改善</p> <p>【持分法による投資利益】▲27億円 エネルギー・化学品本部の持分法適用会社を中心に減少</p> <p>【その他営業外損益】▲12億円 主に為替差損益の悪化</p> |

| 商品本部別 連結売上高・営業利益 | 第1四半期 | 前年同期 | 前年同期比 増減額 | 為替 影響額 | 為替影響除く | |
|---------------------|--------|--------|--------------|-----------|--------|--------|
| | | | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 金属 | 2,993 | 6,017 | ▲3,024 | ▲198 | ▲2,826 | ▲49% |
| 機械・エレクトロニクス | 2,411 | 3,949 | ▲1,538 | ▲235 | ▲1,303 | ▲35% |
| 自動車 | 1,271 | 2,421 | ▲1,150 | ▲211 | ▲939 | ▲42% |
| エネルギー・化学品 | 2,285 | 4,648 | ▲2,363 | ▲144 | ▲2,219 | ▲49% |
| 食料 | 793 | 1,037 | ▲244 | ▲45 | ▲199 | ▲20% |
| 生活産業・資材 | 608 | 869 | ▲261 | ▲24 | ▲237 | ▲28% |
| その他 | 186 | 337 | ▲151 | ▲43 | ▲108 | ▲36% |
| 合計 | 10,551 | 19,281 | ▲8,730 | ▲900 | ▲7,830 | ▲43% |

売上高

| 主な増減要因 |
|------------------------------------|
| 自動車生産台数減少及び非鉄・スクラップ等市況の下落による |
| 機械設備、エレクトロニクス部品取扱い及び海外自動車生産台数減少による |
| 輸出取扱台数の減少による |
| 原油等の市況下落及び取扱い減少による |
| 飼料等市況の下落による |
| 内装資材、生活資材、繊維関連の取扱い減少による |

営業利益

| 商品本部別 | 第1四半期 | 前年同期 | 前年同期比 増減額 | 為替 影響額 | 為替影響除く 増減額 | 為替影響除く 増減率(%) |
|-------------|-------|------|--------------|-----------|---------------|------------------|
| 金属 | 5 | 117 | ▲112 | ▲10 | ▲102 | ▲95% |
| 機械・エレクトロニクス | 11 | 73 | ▲62 | ▲6 | ▲56 | ▲82% |
| 自動車 | 28 | 107 | ▲79 | ▲10 | ▲69 | ▲70% |
| エネルギー・化学品 | ▲2 | 19 | ▲21 | ▲2 | ▲19 | ▲113% |
| 食料 | 26 | 20 | 6 | ▲1 | 7 | 40% |
| 生活産業・資材 | 7 | 15 | ▲8 | ▲0 | ▲8 | ▲49% |
| その他 | ▲3 | 3 | ▲6 | ▲1 | ▲5 | ▲227% |
| 合計 | 74 | 357 | ▲283 | ▲30 | ▲253 | ▲77% |

| 主な増減要因 |
|------------------------|
| 国内及び米国において減少 |
| 国内において減少 |
| 輸出取扱台数及び海外自動車販売台数減少による |
| 原油及び化学品、合樹取扱い減少による |
| 為替の営業外入繰り及びコスト削減による |
| 内装資材の取扱い減少による |

| 連結財政状態 | 第1四半期末 | 前期末 | 前期末比 | |
|-------------|--------|--------|---------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 総資産 | 20,492 | 21,300 | ▲ 808 | ▲4% |
| (流動資産) | 13,511 | 14,601 | ▲ 1,090 | ▲7% |
| (投資有価証券) | 2,536 | 2,333 | 203 | 9% |
| (その他の固定資産) | 4,444 | 4,365 | 79 | 2% |
| 純資産 | 6,129 | 5,869 | 260 | 4% |
| 有利子負債(NET) | 5,740 | 5,739 | 1 | 0% |
| D E R (NET) | 1.0 | 1.1 | ▲ 0.1 | — |

| 主な増減要因 |
|--|
| <p>【流動資産】▲1,090億円 ・現預金の減少▲801億円 ・たな卸資産の減少▲379億円 (在庫の削減に伴う減少)</p> <p>【投資有価証券】+203億円 ・時価の上昇による増加</p> <p>【純資産】+260億円 ・利益剰余金▲9億円 (四半期純利益+26億円、配当金▲28億円等) ・有価証券評価差額金+130億円 ・為替換算調整勘定+84億円 (人民元+31億円、豪ドル+15億円等)</p> |

| 連結業績予想 | 当期予想 | 前期実績 | 前期比 | |
|--------|--------|--------|---------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 50,000 | 62,869 | ▲12,869 | ▲20% |
| 営業利益 | 570 | 910 | ▲340 | ▲37% |
| 経常利益 | 540 | 983 | ▲443 | ▲45% |
| 当期純利益 | 250 | 402 | ▲152 | ▲38% |

| 主要指標推移 | | 第1四半期 | 前年同期 | 2010年 3月期(予想) |
|--------------------|--------------|--------|--------|------------------|
| 為替(円/米ドル) | 平均 期末 | 97.32 | — | 95.00 |
| 金利 | 円TIBOR3M平均 | 96.01 | 106.42 | 95.00 |
| | 米ドルLIBOR3M平均 | 0.60% | 0.84% | 0.80% |
| | | 0.84% | 2.75% | 1.50% |
| トヨタ生産台数(万台) | | 137 | 219 | 630 |
| 熟延鋼板(円/トン) | | 98,000 | 88,000 | 63,500 |
| ドバイ原油(米ドル/bbl) | | 59 | 117 | 50 |
| 豪州一般炭(米ドル/トン) | | 66 | 138 | 73 |
| シカゴコーン(セント/Bushel) | | 406 | 630 | 350 |